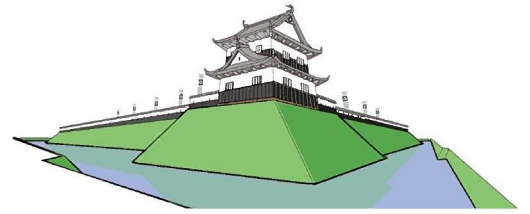


● 黒野城と 加藤貞泰公研究会



会報 甦る! 黒野城

2017.08 vol. 5

夏まっただ中の黒野城。本丸跡は緑に生い茂り、うだるようなセミの大合唱。黒野城主・加藤左衛門尉貞泰は関ヶ原合戦の前哨戦・犬山城での大活躍が判明。また黒野城下町を彷彿させるような規模の「黒野城武将隊」が勢ぞろいや、城下になびく「蛇の目紋」の旗などなど...

本号も、黒野城にまつわるお話や研究会の活動状況など、話題満載です!!



「黒野城武将隊勢揃い」 黒野城跡公園イルミネーションにて

貞泰公の犬山城との関わり（関ヶ原合戦の足取り）

加藤貞泰は犬山城とも大きく関わっていました。関ヶ原合戦・前哨戦の際、犬山城主・石川貞清の元に西軍の関一政・稲葉貞通・加藤貞泰・竹中重門ら美濃国の主要な武将が加勢のために犬山城に集結し、岐阜城の守りに備えていましたが、貞泰は西軍の石田三成への怨念等を抱いていたため、早くから徳川家康（東軍）への味方を決めておりました。

貞泰は加勢衆を説得し、家康と書状のやりとりを何度か行なって犬山城開城へと導きました。それにより岐阜城の早期落城に繋がり、徳川方（東軍）の大垣城への進軍・関ヶ原合戦のきっかけとなりました。

これらの功により、加藤家は合戦後に黒野城や4万石の領地を徳川家康から安堵されることとなりました。

「関ヶ原合戦図屏風」の部分
岐阜市歴史博物館蔵

黒野城から約1,200名の兵力が加勢

貞泰公、犬山加勢衆をとりまとめ東軍に導く。

関ヶ原合戦後、弟平内は江戸への人質や関ヶ原参戦の功で濃州に3,641石賜り、旗本になる。

犬山城加勢衆の武将名
関ヶ原合戦図屏風の一部
徳川美術館蔵「ビジュアル日本の歴史」より

9月3日付 加藤貞泰・竹中重門宛
感謝状 徳川家康より
関ヶ原町歴史民俗資料館蔵

犬山城に加勢していた加藤貞泰は竹中重門を同調させ、犬山城開城へと導いた。その間に貞泰は家康と書状のやりとりをし、徳川への忠誠を誓った。家康は、犬山城開城や徳川への忠誠等に対し両名に感謝状を送った。

至 摂津犬坂城

注意：地図は、現在の地形・河川を除く
作成 2015.10・追記 2017.05.21 黒野城と加藤貞泰公研究会 河口耕三

本願寺・黒野別院 沿革石碑が同地に甦る

昭和50年に黒野別院に設置されていた石碑が、平成8年頃のアソカ苑の建設で岐阜別院(西別院)に移設されていましたが、昨年末に関谷会員が発見。

その後、アソカ苑様のご厚意とご尽力にて3月末に黒野別院跡に戻り、蘇ることが出来ました。石碑は昭和50年9月に建立されたもので、当時黒野在住の河合石材加工所の河井登爾(えいじ)氏によるものです。(碑文には、加藤貞泰が正木御坊の洪水による被害のため、慶長14年に黒野に移したと記しています)

黒野城跡に 「黒野城情報板」設置

黒野城跡の黒野会館分館の外壁に「黒野城情報板」を設置しました。研究会の活動内容や取り組みを地域住民などに周知してもらうことを目的に設置したもので屋根の庇は全て手作り。3月1日、市社会教育課らの立会いのもとで取付工事完了。

早速、ラミネート加工した岐阜市教育委員会の発掘報告や活動資料を掲示しました。城跡を訪れる人に黒野城の知識や研究会の活動を知ってもらえるものと思います。



本願寺・黒野別院跡に甦った石碑



「黒野城情報板」の設置

鎧・兜手作り教室作品展 (みんなの森大集合 ・メディアコスモス)

黒野会館にて平成28年度に開設した鎧兜手作り教室の作品4着を「みんなの森に大集合」(ぎふメディアコスモス)に展示。初めて校区から出たの展示会では多数の見学者と交流を深めました。

子供達から試着・写真撮影の希望があり、中山浩子師匠らスタッフは大忙しでした。



紙芝居上演「お堀から 出てきた観音さま」(同上)

昨年秋の第1弾「黒野のお殿さま」に続き、第2弾「お堀から出てきた観音さま」を上演。河合正幸会員と神山順子会員のコンビでお披露目。プロジェクターで概要説明も行ない、黒野の埋もれた歴史文化を紹介しました。



研究会の活動報告 (2017.01 ~ 2017.06)

主な定番事業

1. 研究活動・・・研究会・調査活動・古文書調査
2. 地域の市民対象活動・・・ふるさと黒野検定子ども版・紙芝居上演(メディアコスモス)・交人「喧嘩松の由来」の案内看板設置・七郷「ふるさと歴史文化講座」来訪講演と史蹟案内・黒野歴史探訪案内・美化活動・岐阜経営研究会「一八会」講演
3. その他・・・武将隊披露、ホームページ・フェイスブックの更新、マップ・リーフレット等の発行

主な新規事業

1. 研究活動・・・NPOパネル展参加、蛇の目紋黒野城旗の製作・設置、網代地区の遺跡・史蹟巡り



第4回黒野歴史探訪
古市場・今川・交人の史跡巡り



NPOパネル展に参加
(岐阜メディアコスモス)



七郷「ふるさと歴史文化講座」
(黒野会館分館)



交人の「喧嘩松跡の由来」
樹木剪定後、案内板設置

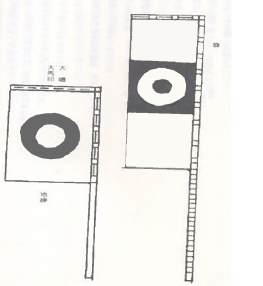


遺跡・史蹟めぐり
安藤守就墓(網代地区)



平成28年度ふるさと
子供検定表彰(黒野小学校)

蛇の目紋 黒野城旗製作・設置



旗 馬印
「北籐緑」より



吉田旗店のご協力により、かねてより待ち望んでいた布製の旗50本を製作。
竹竿は外堀に生える竹を古町の後藤様宅敷地から切り出し、有志にて組立設置することができました。

最近の主な活動行事

分類	主な行事(関係分)	H29 (2017)						内訳・詳細等	
		1	2	3	4	5	6		
研究 活動	1 研究会	○		○		○		2ヶ月毎・事業報告・研究発表 黒野会館	
	1 調査・研究活動(黒野城関係など歴史全般)	○		○		○		個人・グループの調査研究成果を研究会で発表	
	2 郷土古文書調査(目録作成)	○	○	○	○	○	○	玉木家・宮部家文書 会場 黒野会館	
	3 網代地区の道跡・史蹟巡り					○		10名参加、午後開催	
地域 おこ し	1 ふるさと黒野検定子ども版 4・5・6年生対象に実施	○	○	○		○	○	3月にH28年度黒野小児童年間最優秀表彰	
	1 紙芝居上演 みんなの森に大集合 メディアス					○		紙芝居「お堀から出てきた観音さま」上演	
	2 七郷「ふるさと歴史文化講座」来訪 郷孝夫講演 委託					○		18名、黒野会館分館「黒野城とわが郷土」郷孝夫講演他	
史跡 案内	3 岐阜経営研究会 一八会 6月例会講話 河口 委託						○	都ホテル「黒野城の盛衰 加藤貞泰公の研究」	
	1 濃尾古城探訪の会 委託				○			24名バスで黒野城郭見学・案内	
	2 黒野まち協・黒野探訪 古市場・今川・交人巡り 委託						○	全64名(応募46名・スタッフ他18名)	
展 示	3 長良川おんばく2017 黒野城下町と富有柿賞味						○	11月18日開催のプログラム作成	
	1 NPO市民活動パネル展参加 メディアスモス		○					岐阜市市民活動交流センター主催	
	2 鎧兜手作り教室作品展 みんなの森に大集合 メディアス					○		4着の鎧展示・説明に中山浩子師匠他	
ま ち づ く	3 西部コミュニティセンターロビー展示					○	○	黒野城関係の資料、パネルなど展示	
	1 事績案内板	① 元黒野別院右碑あそか苑へ移転申請			○			○	西別院に移されていた碑の申請・文字白入れ
		② 交人 喧嘩松の由来			○	○		○	黒野探訪に合わせて設置
③ 三ツ又芭蕉連句碑 調査・企画		○	○	○	○	○	○	碑文解読・調査研究	
2 幟	① 蛇の目紋のほり企画・製作・設置				○			初の布製製作・竹竿製作、本丸跡などに設置	
	② 搦め手側土塁跡草刈			○		○	○	黒野城跡、見学コース、案内板など清掃	
3 美化活動	① 清掃活動 ゴミ拾い・草刈			○	○	○	○	黒野城跡、見学コース、案内板など清掃	
	② 搦め手側土塁跡草刈			○		○	○	竹藪成長前に草刈	
普 及 活 動	1 鎧・兜手作り教室開催	○	○	○	○	○	○	黒野会館 講師中山浩子、中村奈津子	
	1 武侍隊活動 黒野城跡イルミネーションに参加				○			勢揃いした武侍隊	
	2 ホームページの編集・維持管理(フェイスブック)	○	○	○	○	○	○	活動報告・行事案内・会報公開	
	3 黒野城パンフ・リーフレットの継続配布							黒野城跡・黒野会館など	
4 会館分館に「黒野城情報板」設置・掲示管理				○	○	○	設置許可、屋根・パネル製作設置、活動表示		

～ 編集後記 ～

当研究会が発足して地域の内外に活動域を拡げ始めてから、黒野の雰囲気はずいぶんと変わってきました。城跡や街中には案内看板や旗が目立つようになり、ずいぶんと城下町らしくなってきました。これも地域の皆さんのご協力があってこそです。編集部はそのような活動を少しでもお伝えしていけるよう、今後とも奮起していきます！！

会報 『甦る！黒野城』 Vol. 5

発行者：黒野城と加藤貞泰公研究会

発行年月：平成29年8月(2017)

編集者：篠田哲郎・河口耕三・戸川文男

問合せ・連絡先：ホームページ facebook.com/kuronojyo

TEL 090-1786-6564 河口耕三